

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

信頼される金融グループとして地域社会の発展に貢献し、変化に果敢に挑戦し新たな価値を創造する

当期純利益
400億円

当期純利益
330億円

連結OHR
56%台

連結ROE
6.4%

② 中長期の経営戦略

1. グループ総合力の発揮

TSUBASAアライアンスと群馬・第四北越アライアンスを最大限活用し、広域連携で地域課題を解決

2. 生産性向上の追求

金融仲介機能と情報仲介機能の発揮、デジタルテクノロジー活用による効率化推進

3. 人的資本価値の向上

職員が能力最大限発揮できる職場環境整備、ウェルビーイング追求による価値創造

4. リスクマネジメント深化

精緻なリスク管理態勢構築、コンプライアンス最優先業務運営、ガバナンス充実

③ 対処すべき課題

① 少子高齢化・人口減少への対応

- ・地域経済活性化に向けた面的地域創生への全力挑戦
- ・新潟コンテンツ（佐渡金山・酒造業等）の魅力向上支援
- ・創業・事業承継支援による地域企業の維持・発展

② デジタル化・業種間競争激化への対応

- ・生成AIを含むデジタルテクノロジーの活用推進
- ・DX・生産性向上支援で顧客課題解決
- ・デジタル顧客数62万先を目指す

③ 経営環境不確実性への対応

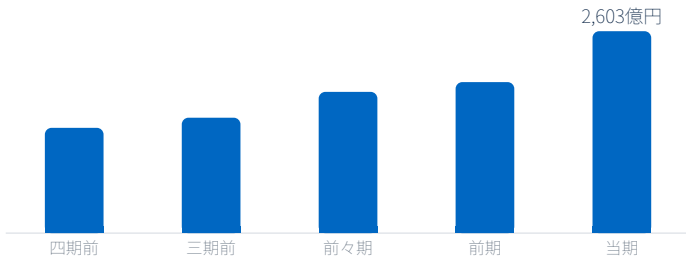
- ・世界経済不確実性と大規模災害リスクへの対処
- ・付加価値創出型経済への転換対応
- ・サステナブルファイナンス実行額10,800億円を目指す

面接で使えるポイント

- ・TSUBASAアライアンスという地方銀行最大規模の広域連携で、新潟から全国へ価値提供する仕組みに関心
- ・佐渡金山や酒造業など新潟の地域資源を活かした創生事業で、単なる金融仲介を超えた社会貢献実践
- ・人的資本を「人財」と表現し、職員ウェルビーイング追求を経営戦略の中核に据える企業姿勢

証券コード 7327

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
2,603億円営業利益率
－（未開示）財務健康度
16点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 60.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収

1,234万円

銀行業内 3位/78社

平均年齢

45.3歳

銀行業内 13位/78社

平均勤続

23.0年

銀行業内 6位/78社

女性管理職

24.8%

銀行業内 12位/57社

男性育休

106.2%

銀行業内 16位/55社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに

新潟市に本社を置く銀行持株会社

主力事業・セグメント

- ・銀行 88.8%
- ・リース 8.8%
- ・証券 2.3%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高2,603億円の事業規模
- ・平均勤続23.0年と定着率が高い
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 株式会社第四北越フィナンシャルグループ及び日本アイ・ピー・エ

